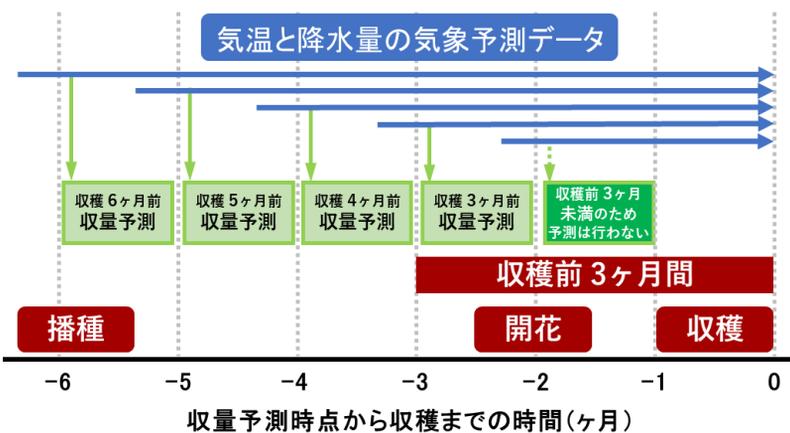


# 世界の穀物収量をいち早く予測 —既存サービスよりも1~6ヶ月早く予測情報を提供—

- トウモロコシ、コムギ、コメ、ダイズについて全世界を対象とした収量予測手法を開発。
- 本手法の収量予測では、既存予測サービスよりも1~6ヶ月早く、収穫の3~6ヶ月前に収量の概況が把握可能。
- 全世界を対象とした収量予測情報の公開は公益性が高く、WEBサイトでの公開を目指す。

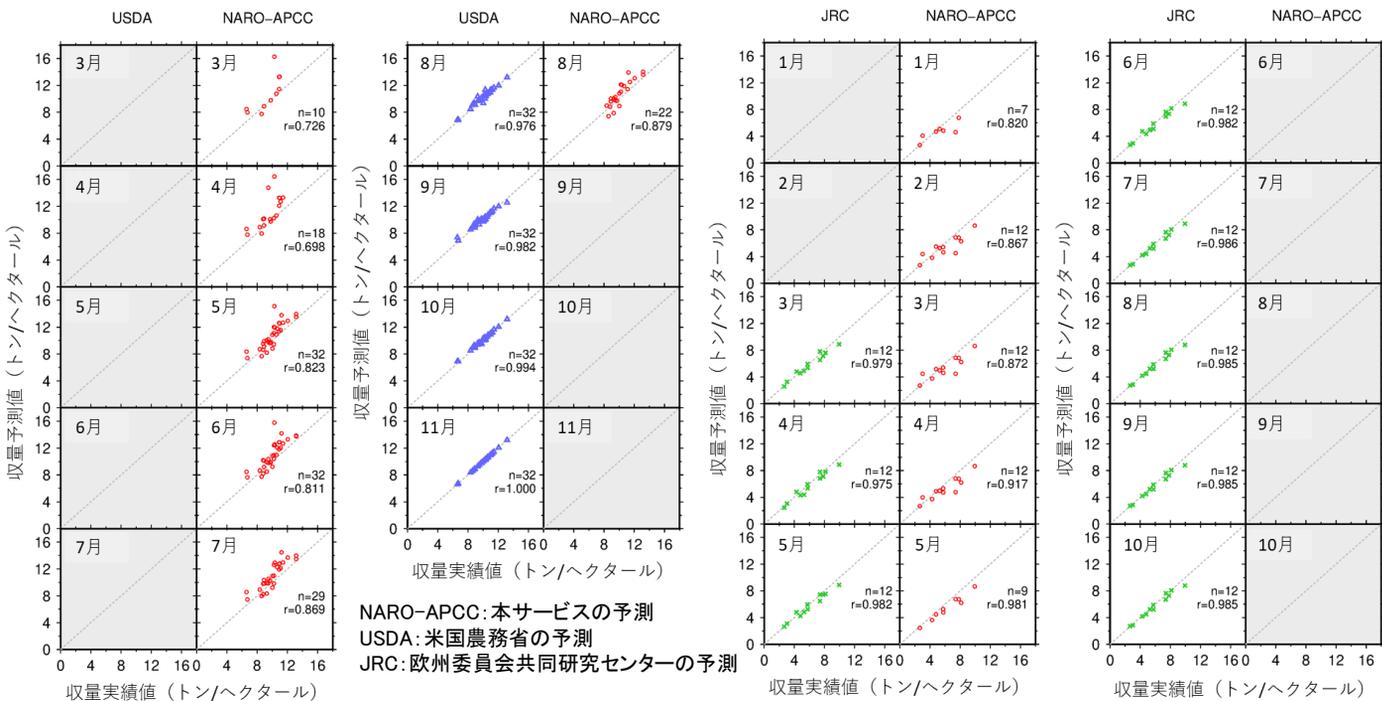


本手法の収量予測の概略  
APCC(APEC気候センター)が公表する将来6ヶ月間の気象予測データをもとに収量を予測。収穫までの期間が3ヶ月未満になった場合には予測せず。

既存サービスより  
米国トウモロコシでは5ヶ月、  
欧州コムギでは2ヶ月早く  
予測情報を提供可能。

2019年産米国トウモロコシの収量予測

2019年産欧州コムギの収量予測



NARO-APCC: 本サービスの予測  
USDA: 米国農務省の予測  
JRC: 欧州委員会共同研究センターの予測

## 導入により期待される効果

本手法による客観的な予測情報の公表は、国際市場における食料の投機的な価格高騰を抑制するなど公益的な効果が期待される。